




被災地いわきの状況報告


平成22年4月13日
株式会社いわきテレワークセンター
代表取締役 会田 和子
aida@iwaki-twc.co.jp




大地震＋津波＋原発事故発生

日時	被害状況	4/6現在	備考
津波被害	久ノ浜地区～勿来地区にかける沿岸部全域で家屋、道路、港湾施設等に浸水等の被害が発生 *H21現在人口360,138人、世帯133,164の約 40% 以上が被害を受けたことになる	死亡290名 *豊間小学校児童2名、園児1名、生徒1名死亡 火災発生:9件 不明者:調査中 被害状況調査中	<ul style="list-style-type: none"> ・永崎地区全域壊滅状態 ・江名走出一部区域倒壊 ・久ノ浜末続宮田・岸内ほぼ全壊、久ノ浜金が沢地区ほぼ全壊 ・四倉旧国道から久ノ浜ほぼ全壊
	□4校(豊間小、永崎小、豊間中、四倉中)	小学校74(50校復旧) 中学校44(26校復旧) 幼稚園18(14園復旧)	3/23小学校卒業式延期 3/18幼稚園卒園式延期
	アクアマリン福島、市美術館、アンモナイトセンター、考古資料館、草野心平文学館、暮らしの伝承郷、国宝阿弥陀堂	施設設備損壊で休館	アクアマリン福島(環境水族館)は ネットワーク機器損壊 によりHP情報提供も不可
原発問題	久ノ浜・大久地区の一部が屋内待避 3校(久ノ浜一小二小、久ノ浜中)	*7校は他の学校を借用	4/6合同入学式 4/9市長農業安全宣言

 大地震＋津波＋原発 当社は・・			
日時	動向	社内対応	備考
3.11(金)	14時47分大震災発生: 震度6弱 19:03 原子力緊急事態 宣言発令(福島第一)	二次被害屋外避難(公園) 社員・雇用スタッフ帰宅指示 *市内居住の在宅ワーカーは 業務継続	半径3km圏内の避難、3km ～10km圏内の屋内退避
3.12(土)	07:45 原子力緊急事態 宣言発令(福島第二発 電所)	緊急対策本部設置 倒壊・被害調査/安否確認 業務機器ネットワーク損壊調査 本社等断水/ガソリン給油困難/ 電話不通、ネット不安定	福島第一半径10km圏内の 避難/福島第二半径3km圏 内の避難、3km～10km圏内 の屋内退避、福島第二半径 10km圏内の避難/第一原子 炉への海水注入/福島第一 半径20km圏内避難
3.13(日)		安否確認(全関係者無事確認)	
3.14(月)		一部の在宅ワーカー、在宅勤務者業務再開	
3.15(火)		全従業員自宅待避指示⇒20代、36代の社員、在宅ワーカーも在宅勤務者も県外に避難。	福島第一半径20～30km圏 内屋内退避
3.16(水)～3.17(木)～3.18(金)		全従業員自宅待避、一部業務再開(総務部門等) *県内外に避難した社員、テレワーカー、風評被害で戻らず	
3.19(土)～3.20(日)～3.21(月)		福島センター一部業務再開	

 4・11震度6弱発生、当社は・・			
日時	動向	社内対応	備考
3.22(月)		通常業務再開準備 ガソリン給油困難/断水等通 期困難/一部社員東京等に 避難中	福島、茨城、栃木、群馬 県産ホウレンソウ、カキナ 及び福島県産原乳の出荷 制限
3.23(水)		業務再開(全部門)⇒復帰スタッフは全体の40%	
3.25(金)		本社水道復旧	
3.26(土)		富士フィルムRFファーマ株式会社千葉工場長様来社 本社ビル放射線スクリーミング検査実施(オフィス空間安全確認)	
3.27(日)		コールセンター部門営業開始(通常の60%回復)	
3/31(木)		正常化宣言(通常業務への切り替え)	
4/1(金)		情報プロボノプラットフォームメンバー会津さん、和田さん、岸原さん被害状況視察来社 (いわき-郡山被災状況調査同行)	
4/8(土)		いわき市長安全宣言(農産物)	
4/11(月)	17:16 震度6弱地震発生⇒停電、断水⇒避難⇒業務停止(退社指示)		
4/12(火)	小名浜方面一部道路倒壊、市内停電復旧、節水、学校 臨時休校 安全・保安院は福島原発事故、最悪「レベル7」と発表		業務通常通り稼働開始 ⇒全体の80%状態 ⇒1名社員県外移住で退社

TWC **本当の情報と誤解される情報**
TWC 30km圏内……いわき市はほとんど入らない

情報の混乱、デマ・パニック
 半径30kmと80kmで
 市民は大きく動揺した！





TWC **その時**
TWC **いわき市は？**

連続する被害…

- ①地震、余震
- ②津波
- ③原発
- ④風評被害
- ⑤物流停止
- ⑥農産物出荷停止

…そして海







TWC

**地域の損害
職(業)喪失
コミュニティ喪失**

いわき市人口360,138人、
世帯133,164⇒
水産業約235、水揚金額約50億円⇒
観光交流人口約1000万人⇒

津波で流失や冠水した農地は、太平洋岸の6県(青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県)で約2万4千ヘクタール



(供給不足)米、野菜、果実、水産加工物、菓子、継続難

TWC


心をひとつに福島の復興を

大震災の影響を受けられた方を対象に
今、私たちにできること
そう考え、行動します

福島復興支援！元気になろうプロジェクト

1. 社内募金
2. 社員特別採用を実施
3. IT & 仕事関連支援の相談窓口を開設
4. 福島県内、いわき浜通り地域生産者の応援キャンペーン
5. 福島県内 & 全国各地避難者(居住者)就業支援・情報提供

株式会社いわきテレワークセンター
〒970-8026いわき市平字小太郎町3-9 電話0246-35-1634 F A X 0246-35-1645
<http://www.iwakitwc.co.jp> <http://furusatomarche.com/>


 TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト
今、私たちにできること


**3. IT & 仕事関連支援の相談窓口を開設
(ISP専門部隊「いわき&福島サテライト」)**

心をひとつに福島の復興を

この度の大震災で被災された皆様、ご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

大震災の影響を受けられた方を対象に
IT & 仕事関連支援の相談窓口を開設 (4/15～)
平日(月～金)10:00～17:00 相談専用電話番号 0120-303-424
パソコン・ネット回線、HPなどIT関係の故障やトラブル、接続不具合等
専門相談員が対応します。IT系仕事の相談も遠慮なくご相談下さい。

 株式会社いわきテレワークセンター
TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト 電話0246-22-7140
〒970-8026いわき市平字小太郎町3-9 URL: <http://www.iwaki-twc.co.jp>

 TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト
今、私たちにできること


**4. 福島県内、いわき浜通り地域生産者の応援キャンペーン
(「ふるさとマルシェ」お客様センター)**

心をひとつに福島の復興を

当社のオンラインショッピングサイト「ふるさとマルシェ」は、福島県内の果物や特産品、酒類をはじめ、いわき、浜通り相双地域の海産物など、安全安心を基本に、ほっぺが落ちるほど美味しい地域逸品をご提供しております。この度の大震災で被災された生産者の皆様、ご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を願い、ふるさとマルシェでは、風評被害を払しょくするための情報発信、一部商品売上の10%義援金、復興後発送する予約受付等生産者支援キャンペーンを展開しております。

情報支援プロボノ・プラットフォーム (ISPP)、IT復興円卓会議、テレワーク関係者、特別認定法人地域産業おこしに燃える会、関係各位の暖かいご支援をお願いします。

 生産者とあなたを結ぶ商品でつながる
ふるさとマルシェ
U-Line Shopping
家族団らん

福島復興支援！元気になるプロジェクト
ふるさとマルシェお客様センター 電話0120-494-322
<http://furusatomarche.com/>
株式会社いわきテレワークセンター
〒970-8026いわき市平字小太郎町3-9 URL: <http://www.iwaki-twc.co.jp>



株式会社ウイル代表取締役奥山睦さんブログ「大田区の女性社長日記」でマルシェ商品が紹介されています。<http://ameblo.jp/moo23/>
奥山さんは、社長、キャリアコン、もの書き、おかん。最近は大学院客員教授と大学院生でもあります。

posted by moo23 東北のお酒を飲もう！

本日、ネットショップ「[ふるさとマルシェ](#)」から、モーツァルトを聴いて育った音楽酒と銘打った小原酒造の「蔵粋(クラシック)」というお酒が届きました！蔵元は福島県喜多方市です。「ふるさとマルシェ」から購入すると、10%が東日本大震災の被災地域への復興支援の義援金になります。

オフィスに到着したこの商品、スタッフに分けたのですが、これまた大好評！ラベルや瓶のデザインもお洒落で名前がユニーク！マエストロ、バイオリン、ピアノ、チェロとなっています。なんと並べてたちまち携帯での大撮影会になりました(*^▽^*)

「ふるさとマルシェ」は、懇意にさせていただいている、[いわきテレワークセンター](#)の会田和子社長が運営されています。

きっとご自身も震災後、大変な日々をお過ごしなのではとお察します。それにもかかわらず、被災地並びに生産者の早期復興を願って、ネットショップをいち早く再開し、義援金活動をされている企業姿勢は、本当に頭が下がります。

みんな、東北のお酒を飲もうよ！

私たちが東北の産直品を消費して経済を回すことが、被災地の早期復興につながるのだから。



TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト


今、私たちにできること **第1に自分自身が元気になること**

富士フィルムメディカル様ご提供の放射線物質から身を守るジャケットとキャップで「がんばろう、元気になるろう」記念写真
支援物資もお見舞いのメールもお手紙も沢山いただきました。



TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト
今、私たちにできること 第1に自分自身が元気になること

富士フィルムメディカル様ご提供の放射線物質から身を守るジャケットとキャップで
 「がんばろう、元気になるう」記念写真
 支援物資もお見舞いのメールもお手紙も沢山いただきました。



TWC 福島復興支援！元気になるプロジェクト
今、私たちにできること





